

第7回 「日本語大賞」

テーマ「わたし私がつか使いたいことば言葉」



小学生の部 優秀賞 受賞作品

未来のために

神奈川県

湘南ゼミナール 中川教室

小学5年 鈴木 諒

未来のために

神奈川県 湘南ゼミナール 中川教室 小学五年
鈴木 諒（すずき・りょう）

今年のゴールデンウィークの陸上大会での出来事だ。ぼくはこぼれそうな涙をこらえながら、トラックを走るリレーメンバーを必死に応援していた。「本当なら、ぼくが今走っているのにも、未来のためだ。」

去年の十二月に陸上クラブに入った。走るのが好きで、もっと早くなりたかったからだ。四月ごろリレーメンバーに選ばれた。ぼくは、週二回の練習でバトンの練習を全力でやった。リレーメンバーは五人だが、本番で走れるのは、四人だけだ。

そして試合当日、前日のつかれが残っていたのか足が痛かった。百メートル、アップをすませてスタート。本気で走ってゴール。二位だった。良い記録が出たかなと思った時、「ズドッ。」という強い痛みを感じた。かんとくに伝えると、コーチにテーピングしてもらった事になった。すぐに治ると思い、リレーを走れると思っていた。

リレーメンバーの発表。ぼくの名前はなかった。まだ理解できなかった。急に涙があふれそうになった。かんとくが、

「諒は、タイムを見ても、けがをしなければ入れたが今の状態では走れない。」

といわれた。お母さんの顔を見たらこらえていた涙があふれ出てきた。

「選ばれなかった。」

ぼくは、足をけがしたことを伝えて、すぐに足を冷やした。それを見た友達や友達のお母さんに「どつしたの。」と聞かれるととても悔しかった。歯をくいしばっているとかんとくがやってきた。

「悔しいか。」「はい。」「とぼくはふるえる声で答えた。かんとくが続けた。

「私もけがして大会に出られなかった事があるんだ。今走りたい気持ちはよく分かる。でもたえなきゃ。なぜなら、未来のためだからだよ。今走ったらもつとけがが悪化して走れなくなるかもしれない。諒、未来は大切にしないではいけないんだよ。」と。

ぼくは、むねがジーンとした。「未来のため」という言葉をこんなに意識した事はなかった。

「未来」とは、ぼくのこれからなんだ。「今」も大事だけど、これからの「未来」のために、ぼくたちは、こらえてがんばる事も必要なんだと思う。それはきっと、これからもぼくが困難にぶち当たった時に支えてくれる大切な言葉になった気がした。